



沢辺税理士事務所通信

平成31年2月1日号

NO. 060

※※※ 経営的視点からみる、カープの長野選手獲得 ※※※

広島カープが丸選手のFAの人的補償として、巨人の長野選手を獲得しました。広島では街をあげての歓迎ムードで、もう丸ロス？もすっかり過去のものとなったかのようです(私含む)。この獲得は経営的視点からみてどういう意味があるのでしょうか？大いに私見を含めて掘り下げていきます。

まず過去の新聞等の記事を見ても、丸選手流出は既定路線だったようです。1年前の契約更改時にも、複数年契約を提示されなかったことに不満を持っていたそうですし、巨人の破格の条件提示、巨人に外野手の補強があまりなかった、丸選手のお父さんも大の巨人ファンだった・・・等、巨人に行く要素がプンプンしていました。

ここまではしかたないですが、いざプロテクトリストを見ると長野選手が外れていた・・・ここで長野選手獲得に動いたのは**経営的視点からも大正解**だったと私は思います。以下がその理由です。

(1) 総合的に見て、丸選手の穴を十分埋めれる

昨年の成績だけを見ると丸選手に分があります。長野選手も実績含め十分な成績を上げているし、また人柄・人望も厚く、新井選手の役割だった兄貴分としての立場も期待されるほど。そして人気も丸選手以上かも、という感じで集客・グッズ販売的にも期待できる。会社で言うと**エースの営業マンが退社したが、入れ違いにオールマイティなゼネラリストが入社してくれた**という感じ。巨人に選手が流出することはあっても、まさか巨人からスター級の選手が来るなど夢にも思っていなかったカープファンにとっても、新鮮さが半端ないでしょう(私)。

(2) 相手の戦力を削げる

間違いなく長野選手は今年の巨人でもレギュラー候補でした。巨人も丸選手を獲得したことによってカープの戦力を落とせたでしょうが、それはこちらも同じ。さらに西武と結託して(と私は見えますが)内海選手、長野選手という人望の厚い2選手を移籍させたことで**相手の士気もかなり落とせたはず。城を攻めるは下策、心を攻めるは上策**という中国の大軍師諸葛亮孔明の言葉を地で行く感じ。とくにシーズン終盤で、必死に追いつがってくるか、それともあきらめムードになるか、という大きな差になった現れるはず。

(3) 金銭的優位

カープには人的補償に加え金銭補償として1億円位入ります。さらに丸選手に3年12億円を提示していたそうなので、長野選手へ年棒を払っても2億円位今年の経費が浮きます。もしも長野選手が来年FAして巨人に戻ったとしても、再び人的補償+金銭補償が手に入る。しかも巨人は、カープが若手・ベテランどちらも獲得する意志・資金があると知ったのでますますプロテクトに悩む。**投資的にいうと、長野選手の獲得はカープにとってローリスク・ハイリターン**なわけです。

私はカープファンなのでポジショントークも大いに入っていますが、これで今年もカープが優勝しそうだと思いますか！？最後にカープファンでない方へ、好き勝手書いてごめんなさい(>_<)

沢辺税理士事務所 株式会社沢辺会計コンサルタント

〒732-0811 広島市南区段原三丁目3番27号 段原メディカルビル3階

TEL 082-236-3935 FAX 082-236-3936 HP: <http://www.sawabe-ac.jp>